福岡県の最近の経済動向

(数値は2020年7月時点の公表値を参照)

福岡県の景気 | 新型コロナウイルス感染症の影響は残るが、足元では緩やかに回復の兆しが見られる

福岡県の7月時点での景気については、生産活動は緩やかに回復、個人消費は足踏みしています。足元では、新型コロナウイルス感染症により一部弱さが見られるものの、緩やかに回復の兆しが見られます。

(米永　裕貴)

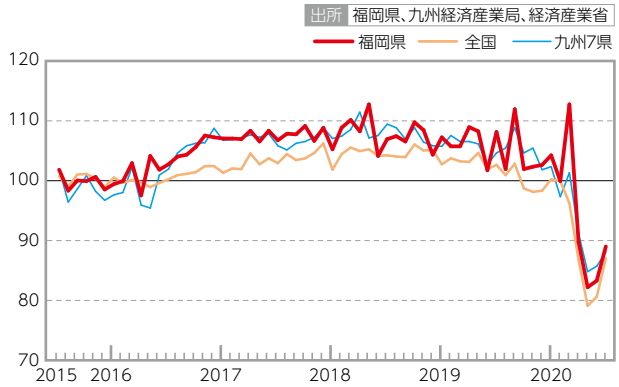
1.生産活動 | 新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、緩やかに増加

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比6.8%増の88.6となりました。

主要業種では、「鉄鋼」「輸送機械」「食料品・たばこ」が上昇し、「汎用・生産用機械」が低下しております。

全体としては、緩やかに増加しています。

■福岡県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



2.個人消費 | 新型コロナウイルス感染症の影響で足踏みしているが、足元では下げ止まっている

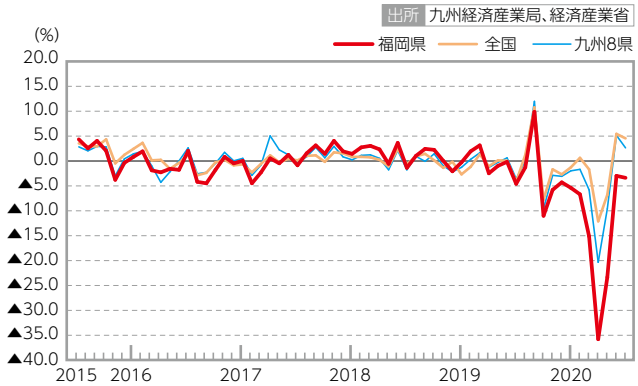
7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.7%減の約555億円となり、前年を下回りました。

また、新車登録台数や、コンビニエンスストア販売額は、それぞれ前年同月比10.9%減の14,133台、同7.6%減の約420億円となりました。

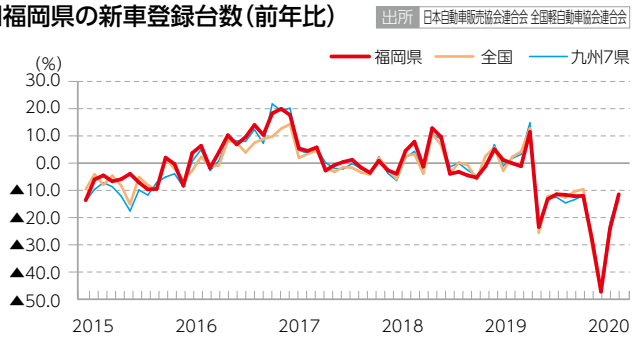
全体としては、足踏みしています。

足元では、新型コロナウイルス感染症の影響が根強いものの、下げ止まっています。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■福岡県の新車登録台数(前年比)

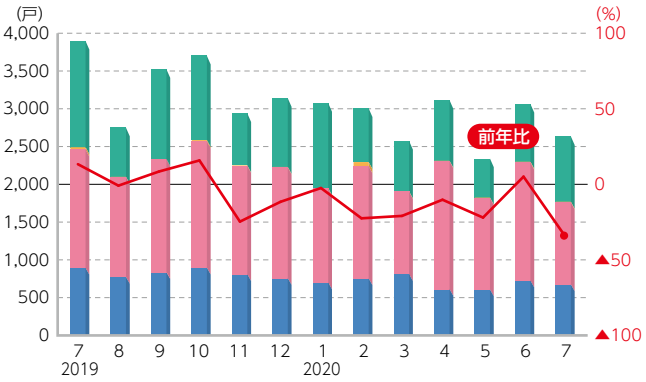


3.住宅建設 ｜ 前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比33.4%減の2,617戸となりました。

「持家」「貸家」「給与」「分譲」いずれにおいても前年を下回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

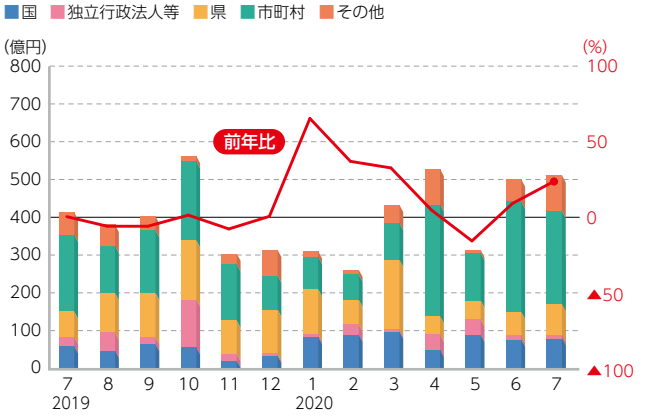


4.公共工事 ｜ 2ヵ月連続で前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比23.6%増の約513億円となりました。

発注者別では、「国」「県」「市町村」「その他」は前年を上回り、「独立行政法人等」は前年を下回りました。総数では、2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■福岡県の公共工事請負金額　出所 西日本建設業保証



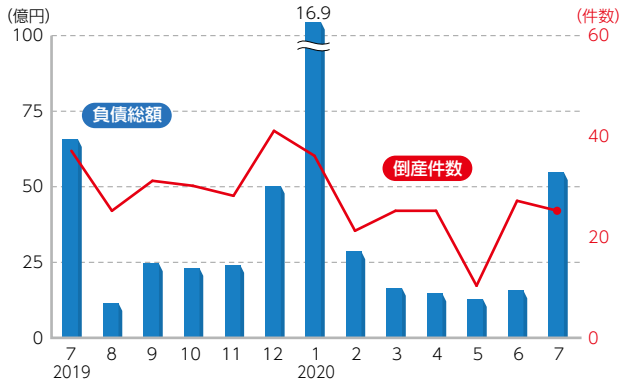
5.企業倒産 ｜ 負債総額は5ヶ月連続で前年を下回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月12件減の26件、負債総額が同16.0%減の約55億円となりました。

負債総額は5ヶ月連続で前年を下回りました。

負債総額1億円以上の企業の業種をみると、小売業、建築工事業、機械製造業等が挙げられます。

■福岡県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

（数値は2020年7月時点の公表値を参照）

熊本県の景気 | 新型コロナウイルス感染症の影響は残るが、緩やかな回復基調

熊本県の7月時点での景気については、生産活動は一部に弱さが見られるものの緩やかに増加、個人消費は底堅く推移しています。足元では、新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、緩やかな回復基調にあります。

（米永　裕貴）

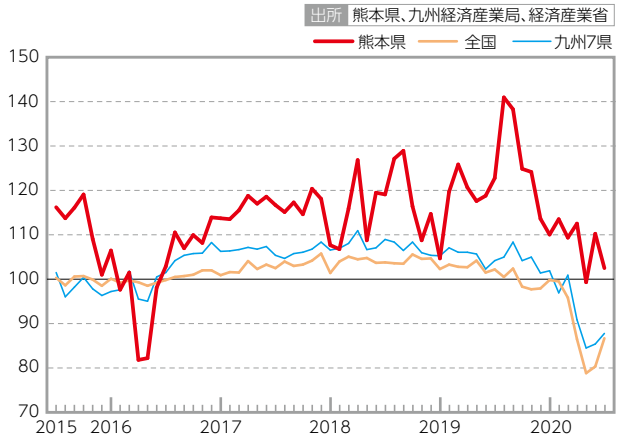
1.生産活動 | 新型コロナウイルス感染症の影響により一部弱さが見られるものの、緩やかに増加

7月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比7.0%減の102.5となりました。

主要業種では、「電子部品・デバイス工業」「食料品・たばこ工業」は増加し、「汎用・生産用機械工業」「輸送機械工業」は低下しました。

全体としては、一部弱さが見られるものの、緩やかに増加しています。

■熊本県の鉱工業生産指数（季節調整済、2015年=100）



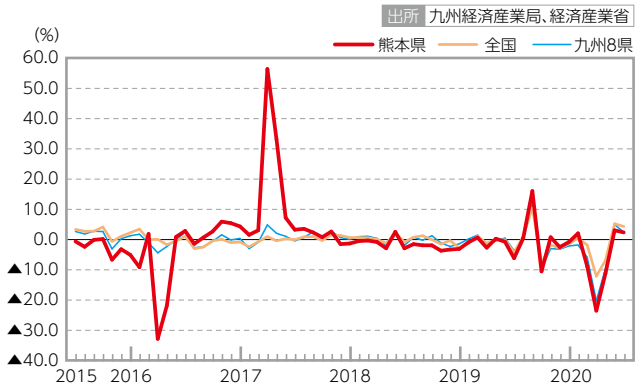
2.個人消費 | 新型コロナウイルス感染症の影響は残るが、底堅く推移

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.2%増の約141億円となり、前年を上回りました。

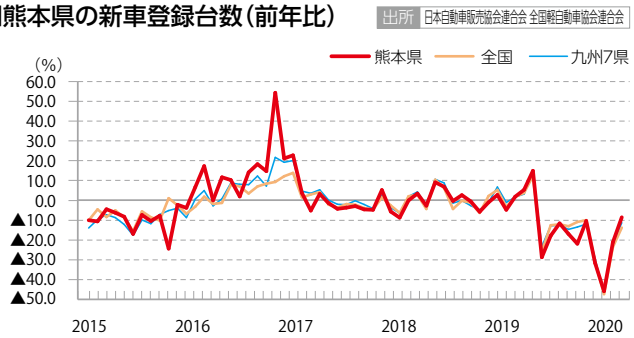
また、新車登録台数は前年同月比8.4%減の5,490台、コンビニエンスストア販売額は同5.2%減の約137億円となりました。

全体としては、底堅く推移しています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額（前年比）



■熊本県の新車登録台数（前年比）



Kumamoto

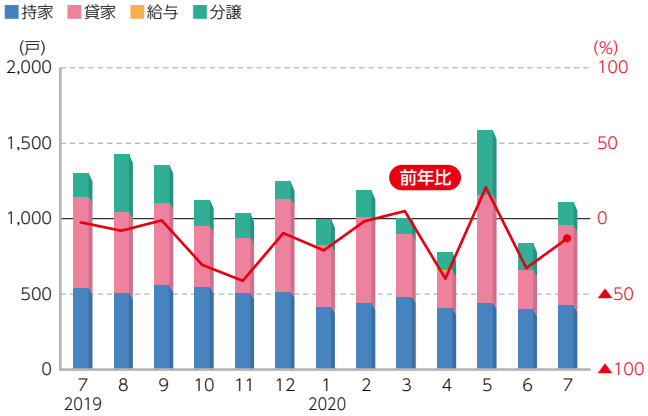
3.住宅建設 | 2ヶ月連続で前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比14.3%減の1,128戸となりました。

「分譲」は前年を上回りましたが、「持家」「貸家」は前年を下回り、「給与」は全年同様で推移しています。

全体では、2ヶ月連続で前年を下回りました。

■熊本県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省



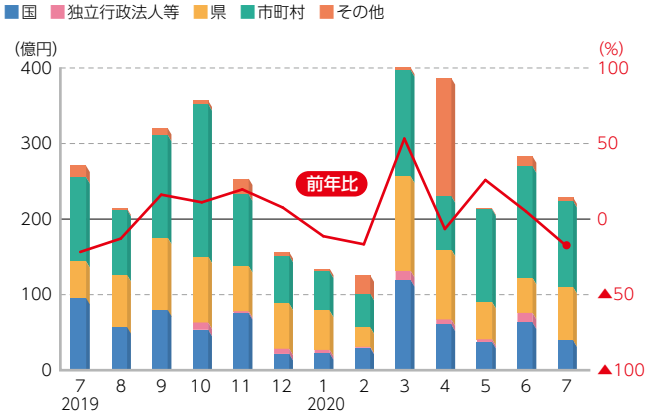
4.公共工事 | 3ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、請負金額が15.5%減の約231億円となりました。

発注者別では「県」「市町村」が前年を上回り、「国」「独立行政法人等」「その他」が前年を下回りました。

全体では、3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■熊本県の公共工事請負金額　出所 西日本建設業保証



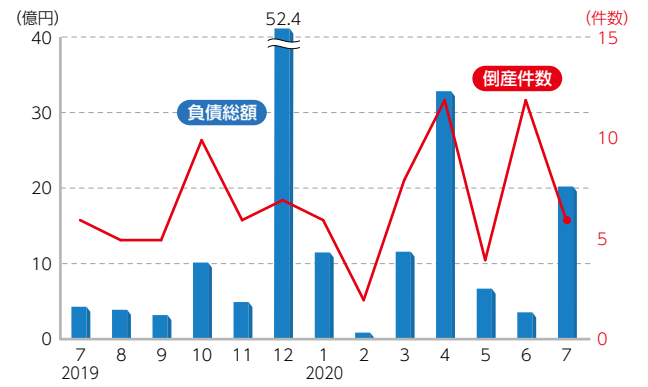
5.企業倒産 | 負債総額は10ヵ月連続で前年を上回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月と同数の6件、負債総額が同367.0%増の約20億円となりました。

負債総額は10ヵ月連続で前年を上回りました。

負債総額1億円以上の企業の業種を見ると、水産業等が挙げられます。

■熊本県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

（数値は2020年7月時点の公表値を参照）

長崎県の景気 ｜ 新型コロナウイルス感染症の影響で一部弱さが見られるが、緩やかな回復基調

長崎県の7月時点での景気については、生産活動は横ばいですが一服感も出ており、個人消費は底堅く推移しています。足元では、新型コロナウイルス感染症の影響により一部弱さが見られるものの、緩やかな回復基調にあります。

（米永　裕貴）

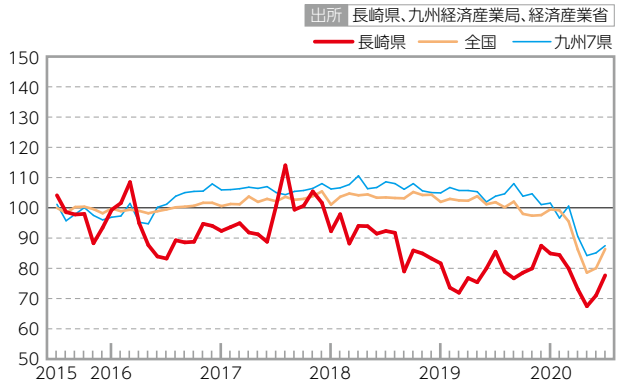
1.生産活動 ｜ 新型コロナウイルス感染症の影響により横ばいだが、一服感も出ている

7月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比9.4%増の77.8となりました。

主要業種では「食料品工業」「輸送機械工業」「電子部品・デバイス工業」が上昇しましたが、「汎用・生産用機械工業」が低下しました。

全体としては、横ばいですが一服感も出ています。

■長崎県の鉱工業生産指数（季節調整済、2015年=100）



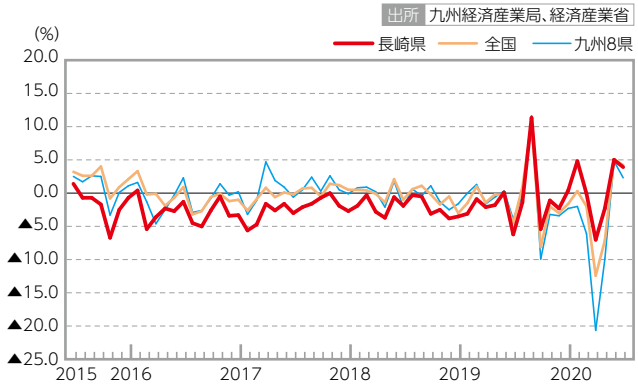
2.個人消費 ｜ 新型コロナウイルス感染症の影響も残るが、底堅く推移

6月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.9%増の約95億円となり、増加しています。

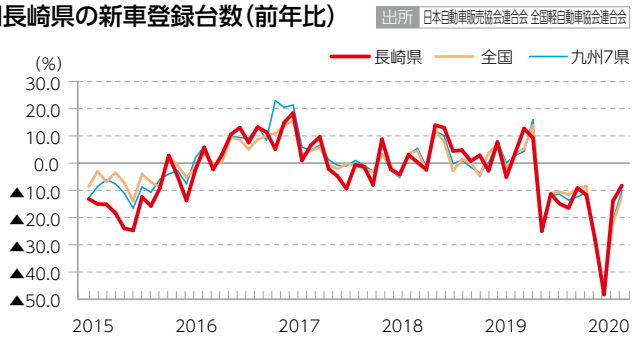
新車登録台数は、前年同月比8.8%減の3,305台となり、コンビニエンスストア販売額は、前年同月比3.3%減の約90億円となりました。

全体としては、底堅く推移しています。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額（前年比）



■長崎県の新車登録台数（前年比）



Nagasaki

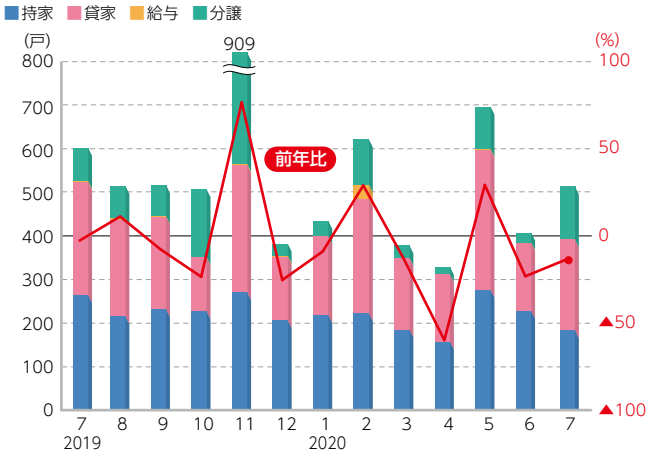
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比13.0%減の530戸となりました。

「分譲」は前年を上回り、「持家」「貸家」「給与」は前年を下回りました。

全体としては、2ヶ月連続で前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

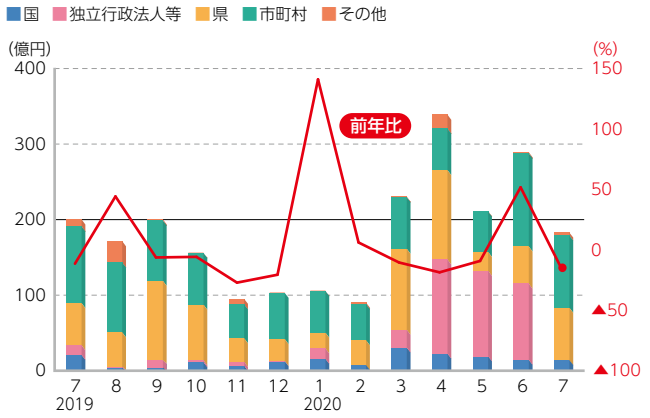


4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比11.5%減の約179億円となりました。

発注者別では、「県」は前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」「市町村」「その他」が前年を下回り、全体では、4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負金額　出所 西日本建設業保証



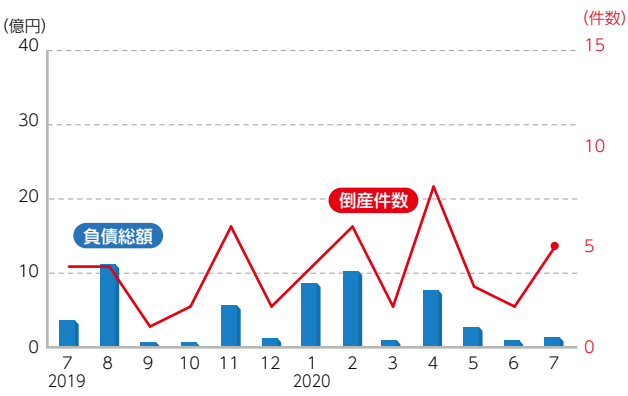
5.企業倒産 | 負債総額は2ヶ月連続で前年を下回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比1件増加の5件、負債総額が同63.0%減の約1億円となりました。

負債総額は2ヶ月連続で前年を下回りました。

尚、負債総額1億円以上の企業はございません。

■長崎県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

(数値は2020年7月時点の公表値を参照)

佐賀県の景気 | 新型コロナウイルス感染症の影響により一部弱さが見られるが、緩やかな回復基調

佐賀県の7月時点での景気については、生産活動は横ばいですが一服感も出ており、個人消費は底堅く推移しています。足元では、新型コロナウイルス感染症の影響により一部弱さが見られるものの、緩やかな回復基調にあります。

(米永　裕貴)

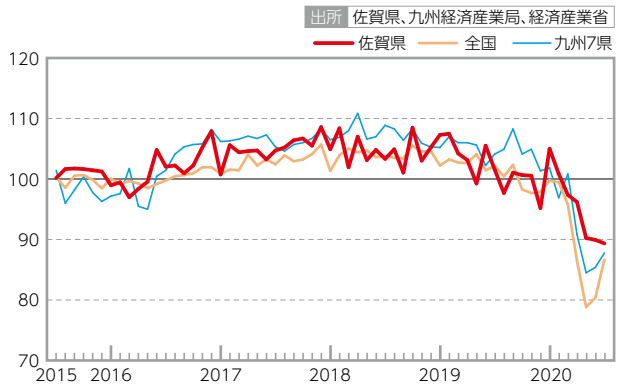
1.生産活動 | 新型コロナウイルス感染症の影響により横ばいだが、一服感も出ている

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比0.6%減の89.3となりました。

主要業種では、「電気機械工業」「食料品工業」が前年を上回りましたが、「電子部品・デバイス工業」「化学工業」が前年を下回りました。

全体としては、横ばいですが一服感も出ています。

■佐賀県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



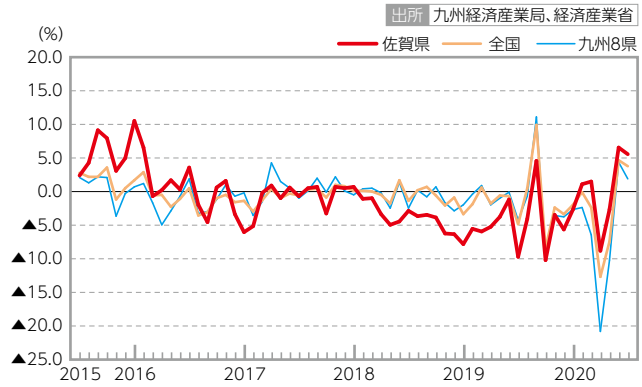
2.個人消費 | 新型コロナウイルスの影響はあるが、底堅く推移している

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比6.0%増の約54億円となり、前年を上回りました。

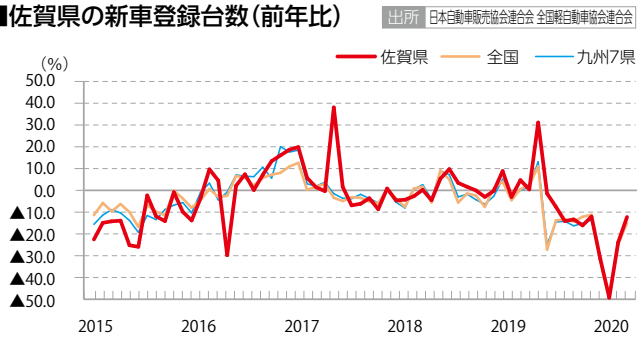
また、新車登録台数は、前年同月比10.0%減の2,372台となりましたが、コンビニエンスストア販売額は、同5.8%減の約63億円となりました。

全体としては、底堅く推移しています。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■佐賀県の新車登録台数(前年比)



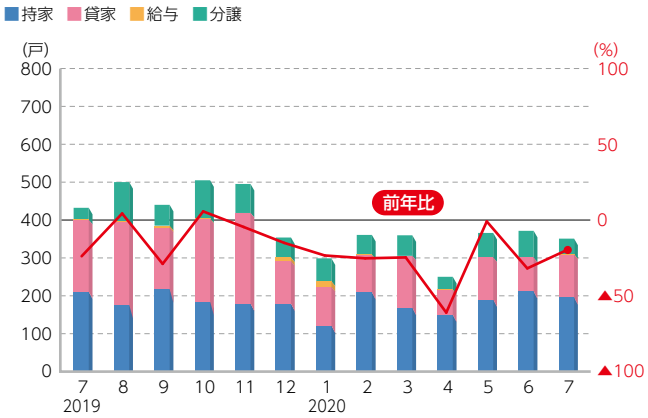
3.住宅建設 | 2ヶ月連続で前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比18.8%減の358戸となりました。

「給与」「分譲」は前年を上回り、「持家」「貸家」は前年を下回りました。全体では、2ヶ月連続で前年を下回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



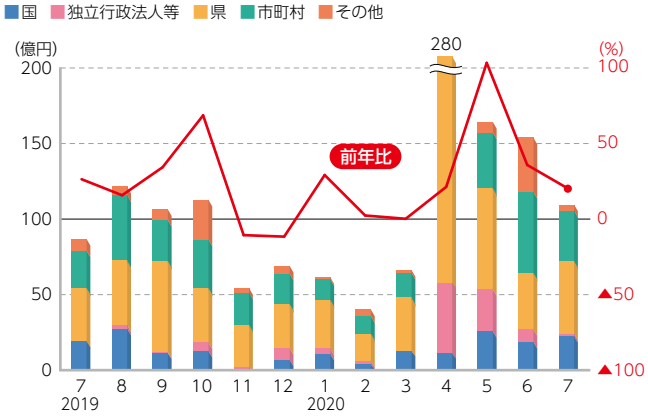
4.公共工事 | 7ヵ月連続で前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比26.2%増の約111億円となりました。

発注者別では、「国」「独立行政法人等」「県」「市町村」が前年を上回り、「その他」は前年を下回りました。全体では、7ヵ月連続で前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は3ヶ月ぶりに前年を下回る

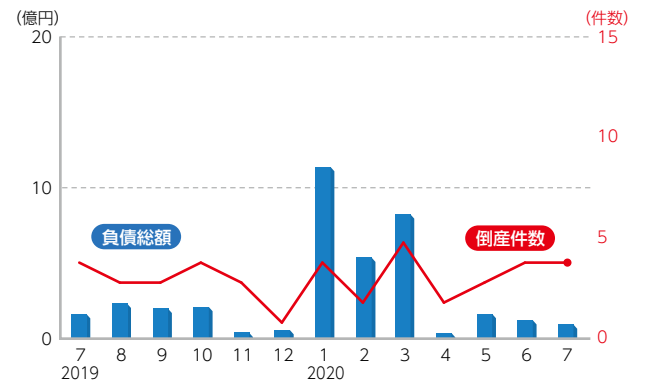
7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月と同数の4件、負債総額が同41.7%減の約1億円となりました。

負債総額は3ヶ月ぶりに前年を下回りました。

尚、負債総額1億円以上の企業はございません。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

(数値は2020年7月時点の公表値を参照)

大分県の景気 | 新型コロナウイルス感染症の影響により弱さが見られるが、緩やかな回復基調

大分県の7月時点での景気については、生産活動は横ばい、個人消費も足踏みしています。足元では、新型コロナウイルス感染症の影響により弱さが見られるものの、緩やかな回復基調にあります。

(米永　裕貴)

1.生産活動 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、横ばいで推移

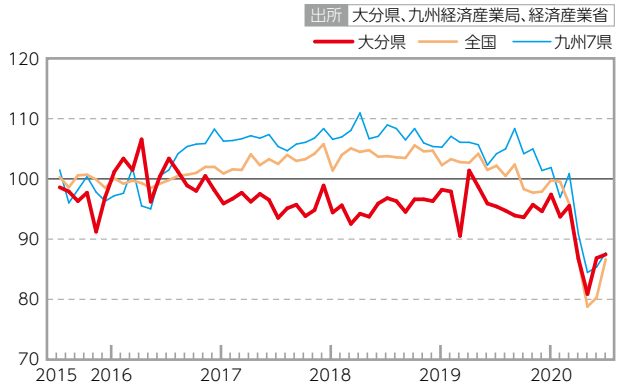
7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比0.7%増の87.4となりました。

主要業種では、「鉄鋼業」が前年を上回り、「汎用・生産用・業務用機械工業」「電子部品・デバイス工業」「化学・石油製品工業」は前年を下回りました。

全体としては、横ばいで推移しています。

■大分県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)

出所 大分県、九州経済産業局、経済産業省



2.個人消費 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、足踏みしている

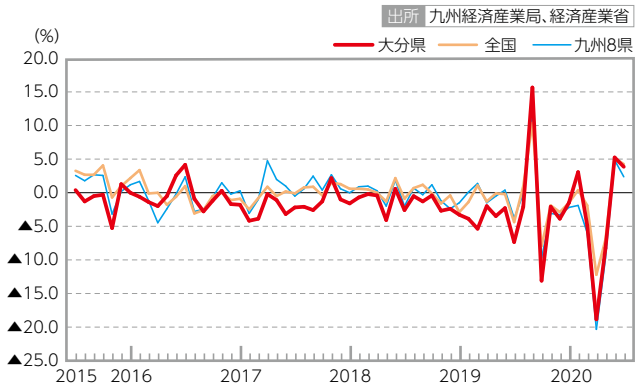
7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.8%増の約96億円となり、前年を上回りました。

また、新車登録台数も、前年同月比8.1％減の3,720台となり、コンビニエンスストア販売額は、同5.0%減の約85億円となりました。

全体としては、足踏みしています。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)

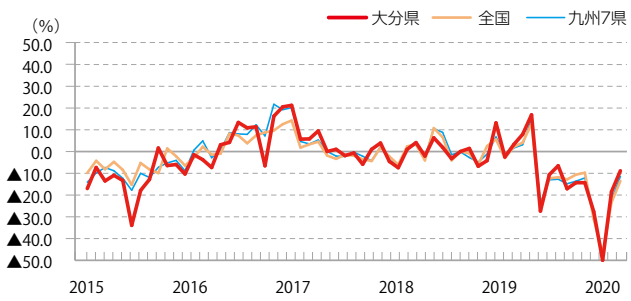
出所 九州経済産業局、経済産業省



足元では、新型コロナウイルスの影響はあるものの、緩やかな回復基調にあります。

■大分県の新車登録台数(前年比)

出所 日本自動車販売協会連合会 全国軽自動車協会連合会

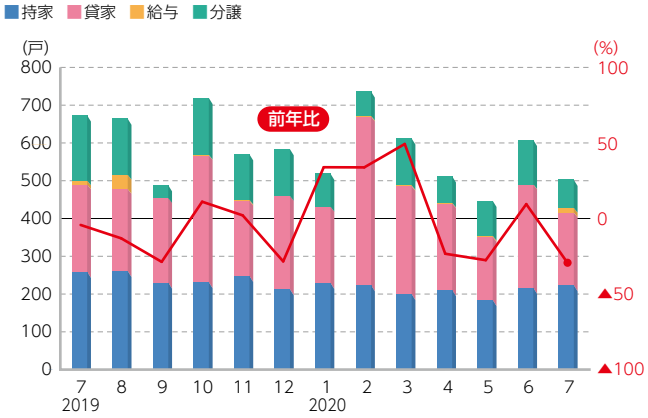


3.住宅建設 ｜ 2ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比27.3%減の497戸となりました。

「給与」は前年を上回り、「持家」「貸家」「分譲」は前年を下回りました。全体では、2ヶ月ぶりに前年を下回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

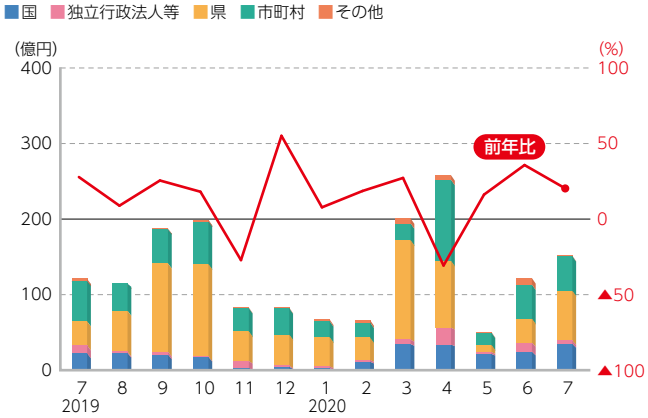


4.公共工事 ｜ 3ヵ月連続で前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比22.3%増の約150億円となりました。

発注者別では、「国」「県」が前年を上回り、「市町村」「独立行政法人等」「その他」が前年を下回りました。全体では、3ヶ月連続で前年を上回りました。

■大分県の公共工事請負金額　出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 ｜ 負債総額は2ヶ月連続で前年を下回る

7月の企業倒産件数(負債額1,000万円以上)は、前年同月1件に対し、0件でした。

負債総額は2ヶ月連続で前年を下回りました。

■大分県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ

宮崎県の最近の経済動向

(数値は2020年7月時点の公表値を参照)

宮崎県の景気 | 新型コロナウイルス感染症の影響により弱さが見られ、緩やかな後退基調

宮崎県の7月時点での景気については、生産活動には弱さが見られますが、個人消費は底堅く推移しています。足元では、新型コロナウイルス感染症の影響により、緩やかな後退基調です。

(米永　裕貴)

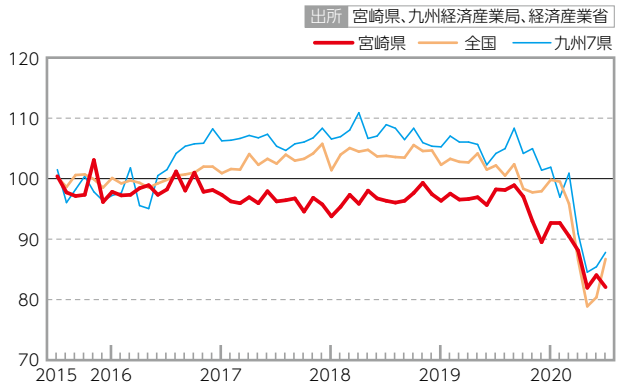
1.生産活動 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが見られる

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比2.4%減の81.9となりました。

主要業種では、「食料品工業」が前月を上回り、「電子部品・デバイス工業」「化学工業」「電気・情報通信機械」が前月を下回っています。

全体としては、新型コロナウイルス感染症の影響が根強く生産活動に弱さが見られます。

■宮崎県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



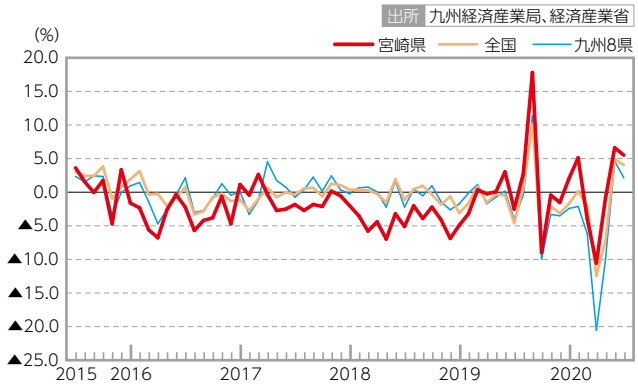
2.個人消費 | 新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、底堅く推移

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比5.7%増の約63億円となり前年を上回りました。

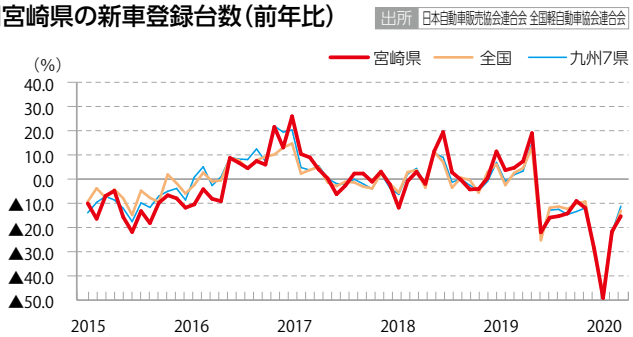
また、新車登録台数は前年同月比14.1%減の3,047台、コンビニエンスストア販売額は3.2%減の約77億円となりました。

全体としては、底堅く推移しています。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■宮崎県の新車登録台数(前年比)

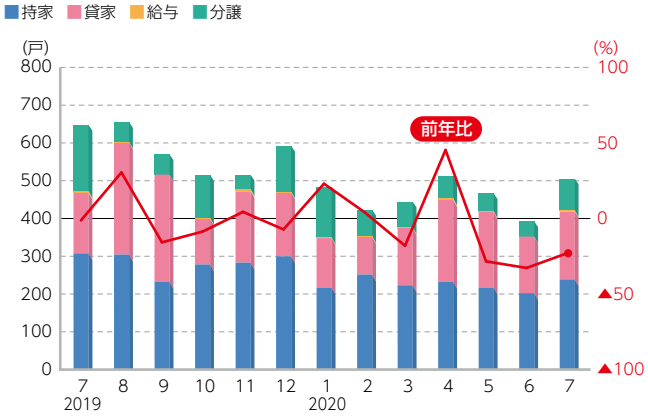


3.住宅建設 | 3ヵ月連続で前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月22.8%減の508戸となりました。

「貸家」のみ前年を上回り、「持家」「給与」「分譲」は前年を下回りました。全体では3ヵ月連続で前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

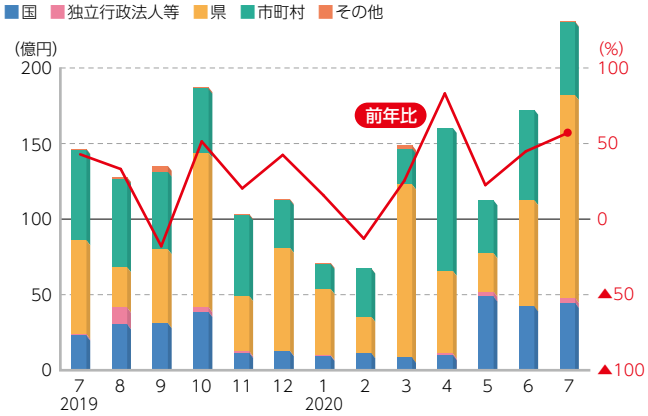


4.公共工事 | 5ヵ月連続で前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比57.6%増の約233億円となりました。

発注者別では「国」「独立行政法人等」「県」「その他」が前年を上回り、「市町村」が前年を下回りました。全体では、5ヵ月連続で前年を上回りました。

■宮崎県の公共工事請負金額　出所 西日本建設業保証



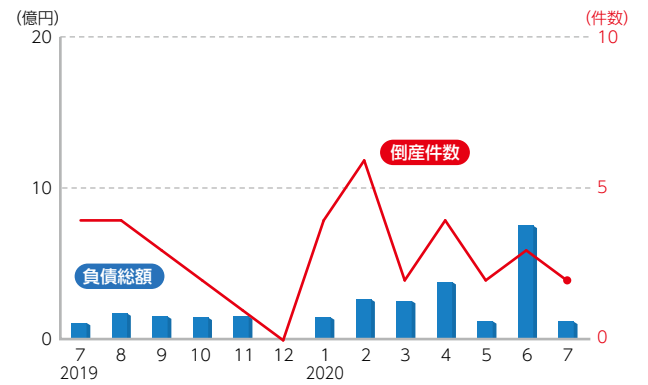
5.企業倒産 | 負債総額は6ヶ月連続で前年を上回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2件減の2件、負債総額が同7.3%増の約1億円となりました。

負債総額は7ヵ月連続で前年を上回りました。

尚、負債総額1億円以上の企業はございません。

■宮崎県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

(数値は2020年7月時点の公表値を参照)

鹿児島県の景気 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、緩やかな後退基調

鹿児島県の7月時点での景気については、生産活動は一部弱さが見られ緩やかな後退基調、個人消費も足踏みしています。足元では、新型コロナウイルス感染症の影響が根強く、緩やかな後退基調です。

(米永　裕貴)

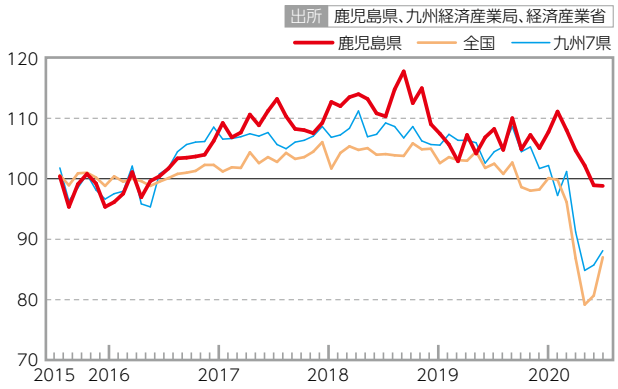
1.生産活動 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部弱さが見られ緩やかな後退基調

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比0.1%減の98.5となり、業種別では「電気・情報通信機械工業」「窯業・土石製品工業」は増加し、「電子部品・デバイス工業」は「食料品工業」低下しました。

全体としては、一部弱さが見られ緩やかな後退基調です。

足元では、新型コロナウイルス感染症の影響が根強く、停滞しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



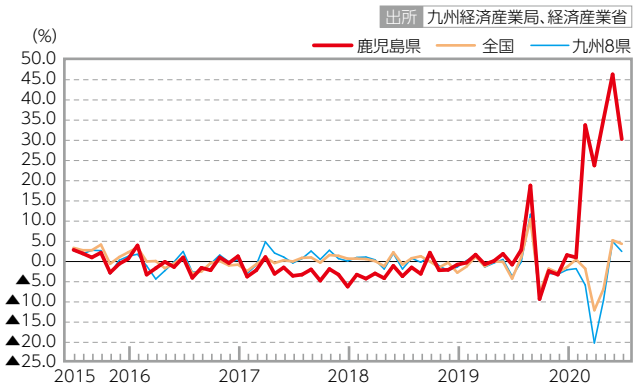
2.個人消費 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、足踏みしている

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比30.4%増の約172億円となり前年を上回りました。

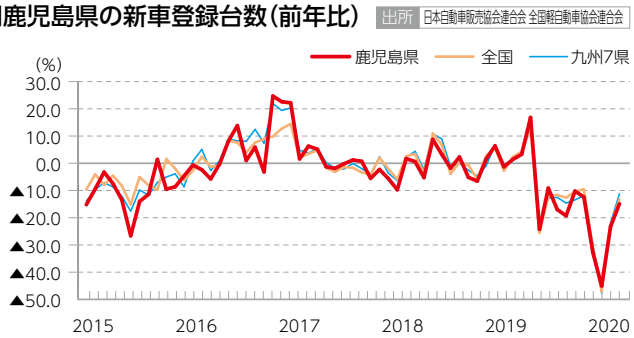
一方で、新車登録台数は、前年同月比14.4%減の4,083台となりました。

全体としては、足踏みしています。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■鹿児島県の新車登録台数(前年比)



Kagoshima

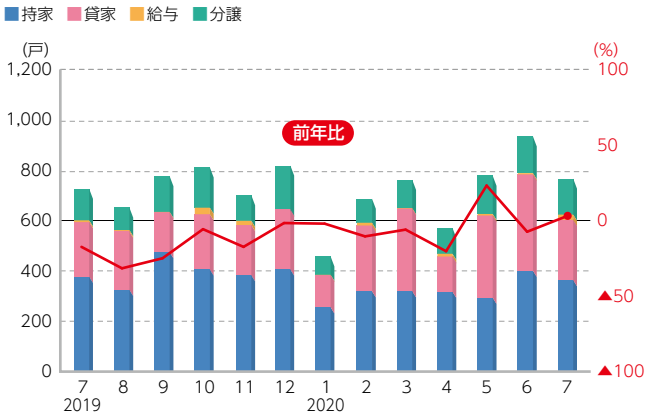
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比4.3%増の770戸となりました。

「貸家」「給与」「分譲」は前年同月を上回りましたが、「持家」は前年を下回りました。全体では、2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



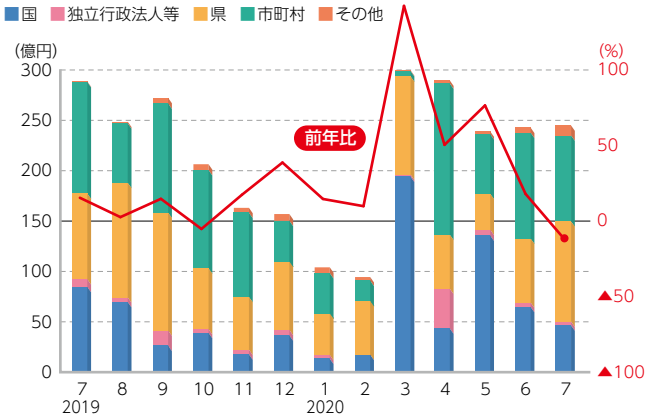
4.公共工事 | 10ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比16.2%減の約246億円となりました。

発注者別では、「県」「その他」で前年を上回り、「国」「独立行政法人等」「市町村」は前年を下回りました。全体では、10ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■鹿児島県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証

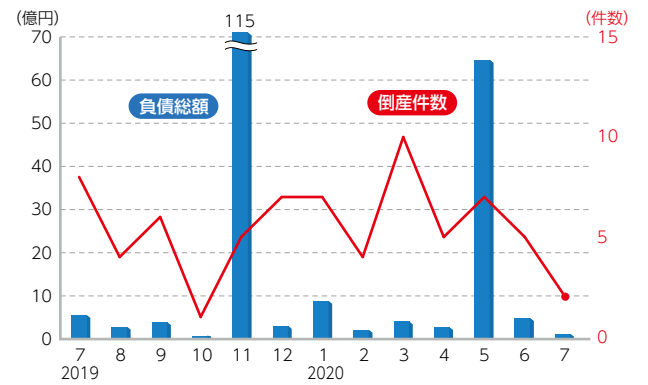


5.企業倒産 | 負債総額は2ヵ月連続で前年を下回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2件減の2件、負債総額が同76.7%減の約1億円となりました。

負債総額は2ヵ月連続で前年を下回りました。

尚、負債総額1億円以上の企業はございません。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ